

腎生検を受けられる患者さまへ

患者様用

患者氏名： _____ 様 受持医師名： _____ 受持看護師： _____

経過	入院当日	検査前	検査後	検査翌日(退院日)
達成目標	腎生検の目的や方法、合併症について理解でき、安心して検査に臨める。	①検査の準備ができる。②安心して検査に臨める。	合併症の出現がない。	退院基準が達成でき、退院ができる。 退院基準①血液検査上、出血を認めない②創部に出血がない
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	持参薬を確認させていただきます。抗生剤の内服薬が処方されます。 	内服薬は朝7時頃に内服していただきます。検査約30分前より止血剤が入った点滴をします。入室直前に筋肉注射をします。  	点滴は開始から約5時間で終了予定です。	
処置	身長・体重測定をします。バスタオルを準備していただきます。 	 	検査後お腹から創部にかけてバンドを巻いて病室に戻ります。医師が超音波の検査時に創部の診察をします。診察時バンドを外します。	看護師にて創部の観察を行います。
検査			帰室約6時間後、超音波検査があります(病室で行います)。	早期、血液検査があります。看護師がお部屋に伺います。
活動 安静度	腎生検前は安静度に制限はありません。	腎生検までは安静度に制限はありません。腎生検は1階の超音波室で行います。超音波室へはベッドで行きます。 	検査後はうつぶせの状態です。帰室30分後に医師と看護師の介助のもと仰向けになります。帰室3時間30分後までは仰向けの状態で安静にさせていただきます。帰室3時間30分後よりベッドアップ(30度)が可能になります。超音波検査施行後、問題がなければトイレ歩行のみ可能となります。 	歩行可能です。退院日は無理のない生活をしてください。 
食事	通常どおり食べていただきますが、21時以降は絶飲食となります。少量の水分は可能です。	絶飲食となります。少量の水分は可能です。 	帰室30分後より飲水が可能となります。帰室3時間30分後より食事をとれるようになります。 	通常どおり食べてください。 
清潔	シャワーまたは清拭をします。 	シャワー・入浴はできません。	シャワー・入浴はできません。	シャワー・入浴はできません。退院翌日から可能となります。
排泄	検査後ベッド上での排泄となりますので、尿器で排尿の練習をします(バルーンカテーテルを挿入するかご相談させていただきます)。	通常どおりトイレに行けます。検査前にトイレを済ませておいてください。 	帰室約6時間後まではベッド上での排泄になります。帰室約6時間以降は超音波検査で問題が無ければトイレの利用が可能となります。 	特に制限はありません。 
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	検査について、医師・看護師より説明があります。 	看護師が説明しながら検査に行きます。	検査による合併症の出現がなかったかについて医師より説明があります。	看護師による退院時指導があります。退院療養計画書と退院処方を受けとってください。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。